平成 21 年 4 月 23 日

各　　位

会　　社　　名　　高砂熱学工業株式会社
（コード番号 1969　東証･大証第 1 部）
代　　表　　者　　役職名　　取締役社長
氏　　名　　石田　栄一
問合せ先責任者　　役職名　　取締役常務執行役員
総務本部長
氏　　名　　木下悠紀治
TEL (03) 3255－8212
（ＵＲＬ　http://www.tte-net.co.jp）

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 21 年 2 月 12 日の第 3 四半期決算発表時に公表した平成 21 年 3 月期(平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日)の業績予想を下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

記

１．平成 21 年 3 月期　連結業績予想数値の修正

	売上高（百万円）	営業利益（百万円）	経常利益（百万円）	当期純利益（百万円）	1 株当たり当期純利益（円）	受注高（百万円）
前回発表予想（A）	238,000	6,700	7,500	2,300	27.97	248,000
今回修正予想（B）	214,200	7,680	8,170	2,810	34.33	236,642
増減額（B－A）	△23,800	980	670	510	6.36	△11,357
増減率（%）	△10.0	14.6	8.9	22.2	－	△4.6
(ご参考)前期実績(平成 20 年 3 月期)	243,376	5,846	6,180	2,978	36.03	254,443

２．平成 21 年 3 月期　個別業績予想数値の修正

	売上高（百万円）	営業利益（百万円）	経常利益（百万円）	当期純利益（百万円）	1 株当たり当期純利益（円）	受注高（百万円）
前回発表予想（A）	210,000	5,200	6,400	1,700	20.67	220,000
今回修正予想（B）	192,600	7,200	8,100	3,280	40.07	216,478
増減額（B－A）	△17,400	2,000	1,700	1,580	19.40	△3,521
増減率（%）	△8.3	38.5	26.6	92.9	－	△1.6
(ご参考)前期実績(平成 20 年 3 月期)	216,446	4,400	5,159	2,543	30.78	225,351

３．修正の理由

海外の連結子会社の業績は低調に推移したものの、個別（当社）において、売上高は計画を下回りましたが、工事採算の改善により利益が増加する見込みとなったため、連結および個別業績予想を修正するものであります。

(参考)受注高実績内訳[速報]

【連結】 (単位:百万円、%)

区分＼期別		前連結会計年度 (自 H19.4.1 至 H20.3.31)		当連結会計年度 (自 H20.4.1 至 H21.3.31)		増　減(△)	
		金額	構成比	金額	構成比	金額	率
設備工事事業	一般空調設備	153,456	60.3	146,604	62.0	△6,852	△4.5
	産業空調設備	94,618	37.2	82,648	34.9	△11,969	△12.7
	計	248,075	97.5	229,252	96.9	△18,822	△7.6
設備機器の製造・販売事業		6,204	2.4	7,223	3.0	1,019	16.4
その他の事業		164	0.1	166	0.1	2	1.3
合　計		254,443	100.0	236,642	100.0	△17,800	△7.0
(うち海外)		(22,160)	(8.7)	(9,808)	(4.1)	(△12,352)	(△55.7)

【個別】 (単位:百万円、%)

区分＼期別		前事業年度 (自 H19.4.1 至 H20.3.31)		当事業年度 (自 H20.4.1 至 H21.3.31)		増　減(△)	
		金額	構成比	金額	構成比	金額	率
設備工事事業	一般空調設備	151,908	67.4	143,044	66.1	△8,863	△5.8
	産業空調設備	73,442	32.6	73,433	33.9	△9	△0.0
合　計		225,351	100.0	216,478	100.0	△8,873	△3.9

(注)
1. 確報につきましては、決算短信において公表いたします。
2. 連結におけるセグメント間取引については、相殺消去しております。
3. 当年度より工事種類別区分の見直しを行っており、「産業空調設備」には従来「一般空調設備」に含めていた研究施設用途の空調設備のうち、日本標準産業分類「製造業」に属する工事発注者からのものを含めて表示しております。なお、比較の便宜上、前年度も同様に組み替えて記載しております。
4. この変更により、当年度は連結・個別とも「産業空調設備」は 18,078 百万円増加し、「一般空調設備」は同額減少しております。
なお、前年度は従来の区分と比べ、連結・個別とも「産業空調設備」は 12,045 百万円増加し、「一般空調設備」は同額減少しております。

(注)上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上